

噴霧器の種類

噴霧器は主に植物の害虫や病気に対して農薬をかけるための機具で、用途や使う場所によっていろいろな種類や形のものがあります。

散布する面積による違い

- 30㎡以下……1eタイプ
- 50㎡前後～300㎡……3～5eタイプ
- 300㎡以上……10eタイプ以上

種類

●トリガー型

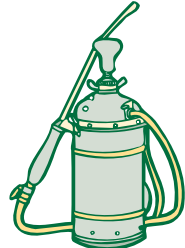
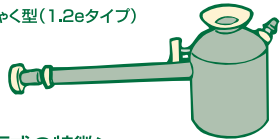
指で引き金を引いて噴霧するスプレータイプで、500ccタイプのもが多く、長い時間やると指がつかれてきますので、鉢植えや小さな花壇など小規模の散布に適しています。



●人力式

全自動式(蓄圧式)

ひしゃく型(1.2eタイプ)



肩掛け式(4e-9eタイプ)

<蓄圧式の特徴>

- ・使用する前に70～80回、ポンプを押して加圧しておく、薬液が噴霧口から吐出されます。
- ・散布するときは両手が使えるので便利です。
- ・延長ノズルをつけると、高いところへも散布できます。
- ・空気と薬液のバランスは4:6が適量です。

※ご注意

指定回数以上加圧したり、加圧したままふたやシリンダーカバーを開けたり、また指定以上の薬液を入れたり(タンク内の空気が少なくなります)すると、薬液を浴びたり、けがをします。取扱いには充分注意しましょう。

●半自動式(半蓄圧式)

ピストンで加圧を繰り返しながら散布していくタイプで、肩掛け式と背負い型があります。



<半自動式の特徴>

- ・タンク自体に圧力をかけないので、タンクの形状を安定させるために内側に曲げたり、タンクの厚さを薄くしたりできるので、比較的軽くなっています。
- ・少ない量の薬液でも、すぐに散布できます。
- ・霧の状態が自由に加減できます。

●電動式

電圧で加圧して散布するタイプ。

○電気式

家庭用コンセントから電源を取るタイプで、コードの届く範囲に限られますが、延長パイプを使うと、高い庭木にも散布できます。

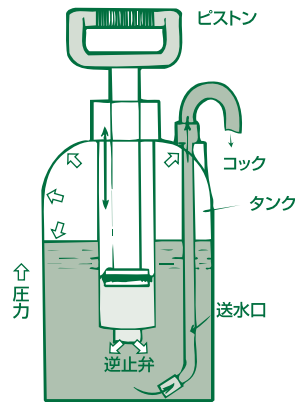
○電池式

小型で軽いため、温室や花壇、家庭園芸用としてよく使われています。乾電池式とバッテリー式があります。

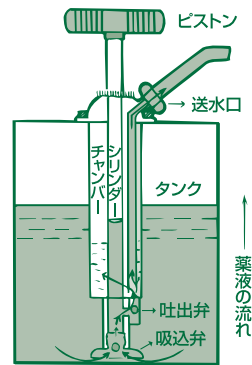


噴霧器のしくみ

●蓄圧式のしくみ



●半蓄圧式のしくみ



サービスのご案内



配達・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



HOME CENTER
SEKICHU

ホームセンターセキチュー

制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

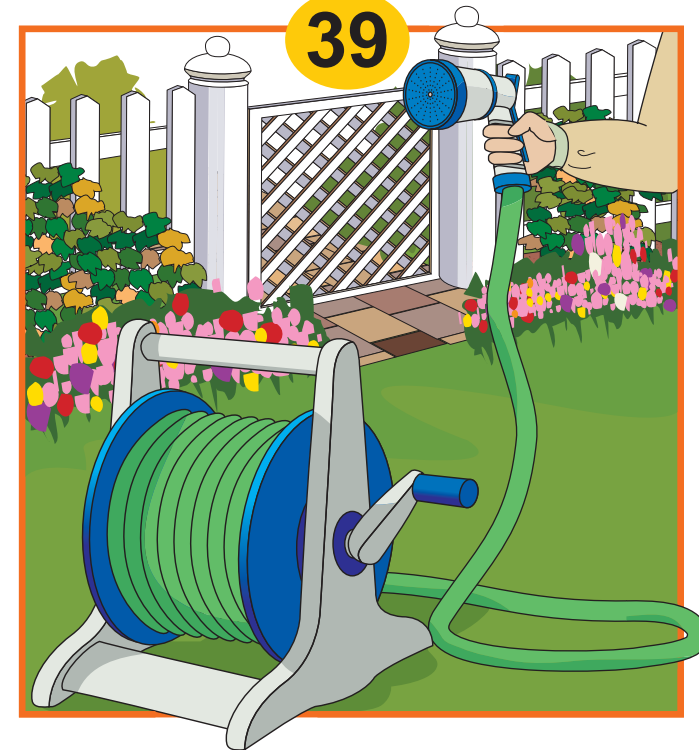
©無断転載は禁止します

散水と噴霧

自分でやってみよう!

セキチュー HOW TO D.I.Y

39



夏の晴れた日の散水は、植物には恵みの水分です。ここでは植物への水やりから庭全体の水まき、洗車、掃除など、散水に必要なものを用途別に紹介します。また、害虫や病気退治に必要な噴霧器の使い方も合わせて紹介します。

Do it Yourself & Save

散水用品の種類

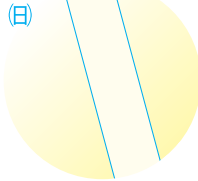
ホース

■一般的な呼び方……内径×外径

内径15mmが一般家庭の蛇口に合うもので、他には18mmや25mmの大きさのものがあります。

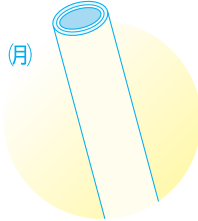
(日) シングルホース

材質やカラー、肉厚に関係なく、同じ素材で一体成型された一重管のホースで、柔軟性がある分、キズがつきやすく、冬の寒さで固くなってしまふものもあります。



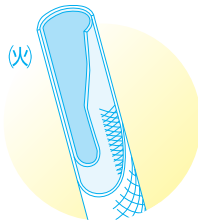
(月) ダブルホース

外と内側が違う素材で作られているため、ねじれや圧力に強いのが特徴です。一般的には内側が白くなっています。



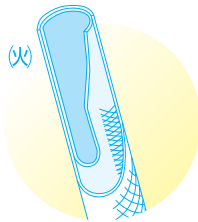
(火) ブレードホース

外側と内側の間にポリエステルなどの合成繊維の糸が編みこまれているので、ねじれやつぶれに強く、中にはものに挟まってもつぶれないで、水の勢いも変わらないというものも出てきています。



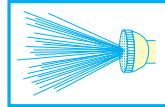
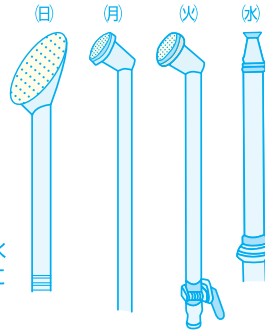
●防藻ホース

ホースの中の水をためたままにしておくと、藻が発生します（緑色をしたコケのようなものが出てくるので分かります）が、このホースは光を遮断する黒い層を持っているので、藻の繁殖を抑制するようになっています。

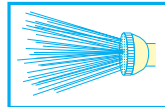


散水ノズル

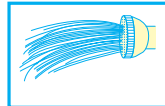
ホースの先端に取りつけて水流を変える機具です。(日)丸型や扇型月)L型火)L型コック付杖型などの機具がありますが、家庭用では拡散、シャワー、如露、直射、ストップといったパターンが必要に応じて変えられるトリガー型(ピストル型)の木のものが主流になってきています。



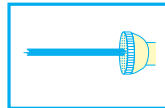
●拡散
……広範囲に散水したいときに



●シャワー
……植木にまんべんなく散水したいときに



●如露
……鉢物にやさしく散水したいときに



●直射
……勢いが強いので、遠くへ散水したいときや汚れを取りたい時に

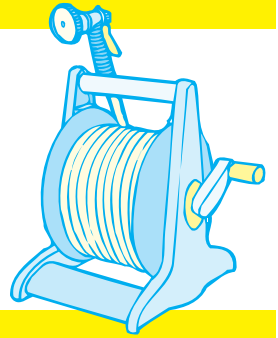


●ストップ

……散水を中断したいときに
(散水が終わったら必ず蛇口を閉めて、ホースの中に残っている水を、ホースの負担にならない程度放出しておきましょう。ストップの状態ですら蛇口をあけたままにしておくとホースの寿命も早くなり、蛇口から水漏れするようになってしまいます。)

ホースリール

ホースを使わないときにじゃまにならないように巻いて保管しておくもので、巻き取りの長さは短いもので10~20m、30m、業務用では50~100m用のものまであります。取付ホースのサイズは12・15・18mm用がありますが、たいしては兼用になっています。業務用はスチール製が主流ですが、一般家庭ではほとんど軽いプラスチック製のものが増えてきています。



ホースバンド

ホースを蛇口に直接つなぐ時に水圧で抜けないようにしっかりとつなぎとめておく器具です。



水さし

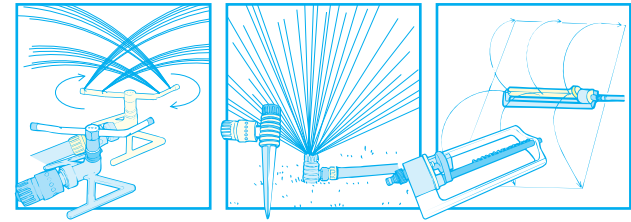
●水さし

ステンレス製からプラスチック製までいろいろなデザインのものがあります。主に鉢植えの水やりに使います。



●スプリンクラー

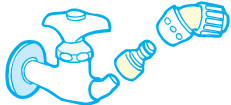
主に芝生や庭に一定量の水をまいたり、ビニールハウスの冷却用などに使われています。水を流すとその水圧でくるくる回りながら四方に散水するものと、円形に拡散させるもの、四角く散水するものなどがあります。庭や必要な場所の形状によって使い分けてください。



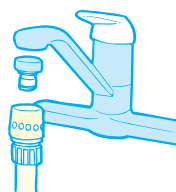
ホースジョイントコネクター



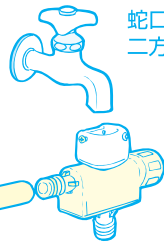
ワンタッチで蛇口につなぐ、はずす



無理なく回転できる



泡沫蛇口につなぐ



蛇口から二方向につなぐ



角型蛇口につなぐ



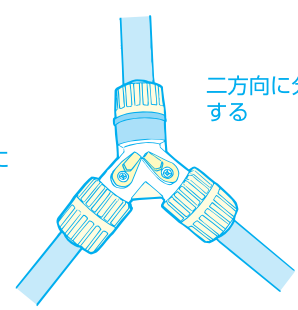
ホース同士をつなぐ



ホース同士をつないで簡単にはずせる



はずす時にストップできる



二方向に分岐する